

サービスホールからのお知らせ

親子発電所見学会を開催します

開催日：3月21日(土)～4月5日(日) *4月1日は休館日の為、お休みさせていただきます。

- ◆お子さま向けにクイズ形式で発電所の状況をご案内します。保護者の方と一緒にご参加ください。
- ◆サービスホールでは、この期間に「電気教室」と「工作教室」も同時開催しております。ぜひこの機会にサービスホールへお越しください。
- ◆お申し込み、詳細につきましては、サービスホールまでお気軽にご連絡ください。

見学会開始時間(月～金)
10時30分、11時30分、13時30分、
14時30分(各回約40分)



見学会の様子

*事前にお申し込みをお願いします。
発電所構内に入る際ご本人確認をさせていただきますので運転免許証などの公的証明書(顔写真付)をご持参ください。

【お問い合わせ】サービスホール ☎0120-34-4053 (9時～17時) *休館日：第一水曜日

*エネルギーホール臨時休館のお知らせ：電気工事のため、3/17(火)～3/19(木)は休館とさせていただきます。

上記期間の土日限定で実験付き見学会を実施します！

- 第一部：「電気のみみつ・原子力の探検」
- 第二部：親子発電所見学会



電気のみみつ・原子力の探検

予約制の特別な実験付き見学会です。

模型を使った発電実験などを行います

10時45分～
13時45分～
(約85分間)

(お取り置き)

皆さまの声をお聞かせください

1. 今月号の中で興味をもった内容に○をつけてください。(複数回答可)
・発電所ニュース
・放射線のはなし
・サービスホールからのお知らせ
2. 「発電所ニュース」では、発電所の取り組みや出来事など毎月ご紹介していますが、今後掲載してほしい内容があればお聞かせください。
○内容【 】
3. シリーズ「放射線のはなし」で掲載してほしい内容があればお聞かせください。
○内容【 】
4. 本紙および発電所に対するご意見・ご質問があればお聞かせください。

～地域の皆さまの声に真摯に耳を傾け、信頼される企業を目指します～

皆さまからの様々なご疑問に本紙でお答えいたします。

日頃から疑問に思っていることやご意見等をお寄せください。

2015年3月8日発行 (H26-R-12)
編集発行責任者
柏崎刈羽原子力発電所広報部
企画広報グループマネージャー
〒945-8601 柏崎市青山町16番地46
☎0120-120-448 (平日 9～17時)

発電所ニュース

緊急時対策要員の実践力を高めています

- ◆発電所では、運転員を除く全社員を緊急時対策要員とし、万一の際に対応できるように様々な訓練を繰り返しています。
- ◆原子炉等への注水を担当する注水隊メンバーは約170名(平成27年2月末現在)が選任されており、全員が緊急時に実際に対応できるよう、順番に訓練しています。



約2万トンの淡水貯水池

注水隊による訓練の様子
(大量の水を放水できる貯水池で訓練しています)



圧力調整して放水用の消防車へ送水します

吸水用の消防車



放水用の消防車

- ◆消防車を複数台つなげて、遠いところから水を持ってきて原子炉等へ注水する事態を想定しています。

皆さまの声にお答えします

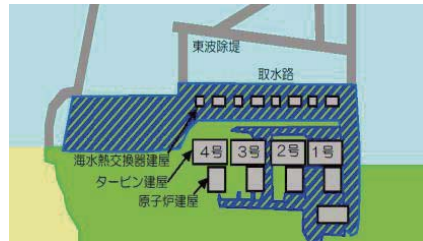
Q.福島第二が、福島第一のようにならなかった理由は？

現在はどうなっているのですか？

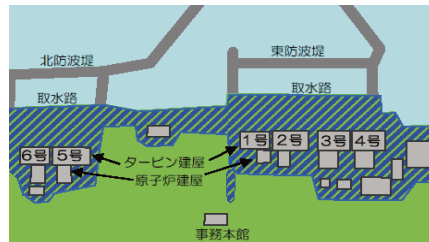
A.一部の電源設備が使えたことで、原子炉の冷却に必要な復旧活動を効果的に行うことができました。現在は全ての号機で安定した燃料の冷却を継続しています。

津波による浸水被害の状況（概念図）

浸水した場所



福島第二原子力発電所



福島第一原子力発電所

当時の状況はホームページでもご覧いただけます。

www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/outline

「2-12 福島第二原子力発電所はなぜ過酷事故を免れたのか」

なお、現在、福島第二では全ての号機で原子炉および燃料プール内にある全燃料の冷却を行っており、安定状態を維持しています。

柏崎刈羽原子力発電所では、福島第一のような事故を二度と起こさないよう、安全に関わる新たな知見を収集し、継続的に安全性の向上に努めてまいります。

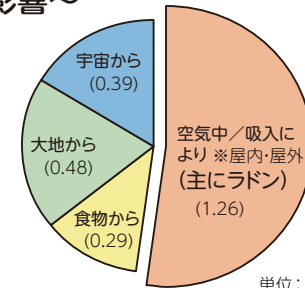
<p>津波による浸水防止</p> <p>海拔約15mの防潮堤</p> <p>原子炉建屋側面開口部を覆う防潮壁(海拔約15m)</p>	<p>注水・冷却手段の多様化</p> <p>非常時に原子炉などを冷やす淡水(約2万トン)の貯水池</p> <p>原子炉等への注水が可能な消防車42台(消火用3台含む)</p>	<p>電源の多様化</p> <p>大容量の電気を作る空冷式ガスタービン発電機</p> <p>機動的な電源供給が可能な電源車</p>
---	--	--

柏崎刈羽原子力発電所の安全対策の例

【シリーズ】放射線のはなし③7

～空気中のラドンの影響～

◆私たちが自然界から受けている放射線のうち大半は、呼吸によるものです。主にラドンという岩や土から空気中にしみ出してくる天然の放射性ガスが影響しています。



単位:ミリシーベルト

自然放射線による年間線量
(世界平均、合計約2.4ミリシーベルト)



◆ラドンは元々ウランが崩壊*して生成される放射性ガスで、ウラン鉱山などでは多く存在しています。風通しのよい所では周りの空気に薄められますが、閉塞された所では滞留して濃度が高くなります。米国環境保護局は鉱山のデータを元に住居での基準値を設けています。

◆日本の一般家屋では、湿気を防ぐために風通しの良い作りとなっているため、呼吸によって受ける放射線は年間約0.48ミリシーベルトと、世界平均の約1/3です。

◆日本には低線量のラドンを含んだラドン温泉があり、治療やリハビリにも利用されています。



*崩壊:放射線を放出して別の原子核になる現象 出典:電気事業連合会「原子力・エネルギー図面集」、電力中央研究所「低線量放射線生体影響の評価(電中研レビューNo.53)」

【発電所ミニデータ】

- 柏崎刈羽原子力発電所で現在働く人は5,735人です。(2月2日現在)
- 内訳は以下のとおりです。

＜東京電力＞ (人)	
柏崎市	827
県内	刈羽村 90
	その他 114
県外	93
＜合計＞	1,124

＜協力企業*1＞ (人)	
柏崎市	2,359
県内	刈羽村 186
	その他 1,005
県外	1,061
＜合計＞	4,611 (3,251*2)

*1 登録人数を計上
*2 2月2日の構内入構者数

ご記入いただきました個人情報については、質問などへの回答、紙面づくりの参考以外では使用いたしません。(2015年3月号)

お電話番号

ご住所〒

お名前

おのり

差し支えなければご記入ください

〒945-8790

12

柏崎支店 承認

差出有効期間 平成29年2月2日

まで (切手不要)

東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
広報部 行
(柏崎支店私書箱 53号)

郵便はがき
9458790